

未利用化粧品を用いた 砥部焼の絵付け用絵の具及び釉薬の開発

－資源を循環させる新たな砥部焼－

愛媛県産業技術研究所 窯業技術センター 研究員 神谷 明里

未利用化粧品の有効活用を目的に、砥部焼の絵付け用絵の具及び釉薬の開発を行いました。

【下絵付け用絵の具の開発】

未利用化粧品＋水＋増粘剤



化粧品 A

化粧品 B

酸化焼成 還元焼成

【上絵付け用絵の具の開発】

未利用化粧品＋フリット＋水＋増粘剤



化粧品 A

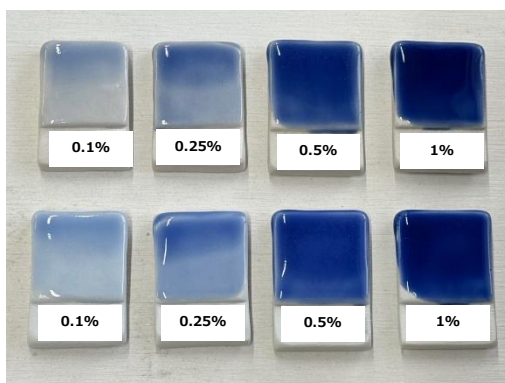
化粧品 B

焼成前 焼成後

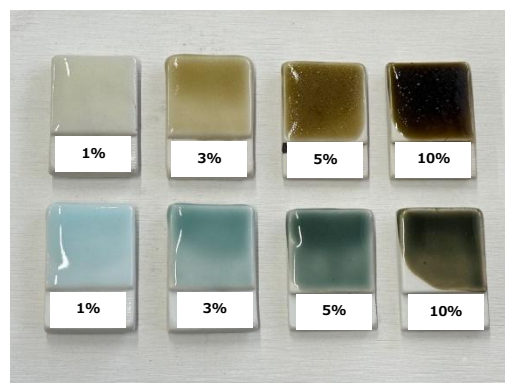
【釉薬の開発】

未利用化粧品＋石灰釉

⇒ 一般的なコバルト釉や鉄釉の呈色が見られた



化粧品 A



化粧品 B

酸化焼成

還元焼成

- 未利用化粧品を用いて、砥部焼の下絵付け用絵の具、上絵付け用絵の具及び釉薬を開発することができました。
- 開発した絵の具や釉薬は、未利用化粧品の水をうまく分散させた状態で作製することができ、発色も良いことから、実用性が見込めることが分かりました。

本研究は、公設試発起業化シーズ育成支援事業により実施しました。